

第1号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策計画書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 213-8533
 住 所 川崎市高津区坂戸1丁目20番1号
 氏 名 株式会社ミットヨ 取締役社長 中川 徹
 (代理人) 本社総務部長 川又 収司 印

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第9条第1項(同条第4項において読み替えて準用する場合を含む。)の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	株式会社ミットヨ		
主たる事務所又は 事業所の所在地	川崎市高津区坂戸1丁目20番1号		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者(任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	E	製造業
	中分類	27	業務用機械器具製造業
主たる事業 の内容	精密測定器具製造業		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	2,411	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	総務部 総務2課
		所在地	川崎市高津区坂戸1丁目20番1号
		電話番号	044-813-8201
		FAX番号	044-813-8201
		メールアドレス	
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計 画 期 間	平成25年度 ~ 平成27年度
温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針	別添 指針様式第1号のとおり。
温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制	別添 指針様式第1号のとおり。
温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第1号のとおり。
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり。
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり。
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり。
備 考	当社の地球温暖化対策の取り組みについては、ホームページにて「環境報告書」として公表しております。 http://www.mitutoyo.co.jp/corporate/ecology/index.html

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
- 2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
- 3 計画書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
- 4 ※印の欄は記入しないでください。
- 5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標等（第1号、第2号、第4号該当者等）

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量

ア 基準排出量と目標排出量

基準年度	平成24年度	目標年度	平成27年度
基準排出量	(実) 4,479 (調) 4,471 t-CO ₂	目標排出量	(実) 6,996 t-CO ₂
削減率	(実) -56.2 %	削減量	(実) -2,517 t-CO ₂

イ 基準排出量原単位等と目標排出量原単位等

原単位の活動量	生産高	単 位	t-CO ₂ /百万円
基準年度の値	0.9920	目標年度の値	1.538
削減率	-55.0 %		
延床面積、生産数量以外の原単位を使用した場合の理由	当社の原単位の活動量は生産高と致しました。当社の生産部門は試作、多品種少量生産であるため、削減効果の評価を鑑みたとき、生産高を妥当と判断しております。		

ウ 目標設定に関する考え方

<p>今後3年間で新社屋が建設され稼働を開始します。新社屋は安全性・利便性を考慮し床面積が増加するため温室効果ガスの排出量は増加すると予想されますが、増加幅を少なくするための措置を実施していきます。</p> <p>また、生産高がそれほど伸びないため、原単位は基準に対し悪化すると予想されます。</p>
--

(2) 温室効果ガスの排出の量の削減目標（全社目標）

--

5 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の内容

<p>事業所等に係る温室効果ガスの排出の量の削減を達成するための具体的措置</p> <p>(第1号、第2号、第4号該当者等)</p>	<p>今後3年間で新社屋が建設され稼働を開始します。新社屋は安全性・利便性を考慮し床面積が増加するため温室効果ガスの排出量は増加すると予想されますが、増加幅を少なくするための措置を実施していきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○コージェネレーション設備の設置と効率的運転を行う。 ○事務所空調の外気導入量の調整管理を行う。 ○コンプレッサーの負荷に対応した適正運転の実施する。 ○二重窓、複層ガラス等の採用による断熱強化を行う。
<p>自動車に係る温室効果ガスの排出の量の削減を達成するための具体的措置</p> <p>(第3号該当者等)</p>	

(2) 再生可能エネルギー源等の利用計画及び前年度末における利用実績

ア 再生可能エネルギー源等の利用に係る考え方

再生可能エネルギーの利用計画は今のところありません。

イ 再生可能エネルギー源等の利用計画及び利用実績

設備等の種類	概要(規模、導入場所、性能等)	導入年度	備考

ウ 再生可能エネルギー源等の価値の保有計画及び保有実績

種類	概要(規模、場所等)	保有年度	備考

(3) 基準年度の末日までに完了した主な対策内容

省エネルギー設備の導入については基準年度以前から積極的な取り組みを行なっている。
 具体的には、これまで次のような取り組みを実施してきている。

1. 全てのボイラーをA重油焚から都市ガス焚に交換した。
2. 既設蛍光灯の安定器に対し、可能な機種は省エネ型インバーター安定器に交換した。
3. 空調設備の更新に際し、効率の良いヒートポンプ式に切り替えている。
4. エアコンプレッサーを省エネ型に切り替えている。
5. ロスナイ換気扇の導入。
6. 廃棄物の減量化、分別化の取り組みを行なっている。

6 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項

なし

7 その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項

緑地の維持管理の推進

様式第 1 号

(第 7 面)

8 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績

(1) 事業者単位

ア 第 1 号、第 2 号、第 4 号該当者等

(実)	4,479	t-CO ₂
(調)	4,471	

イ 第 3 号該当者等

(実)		t-CO ₂
(調)		

(2) 事業所等単位 (第 1 号、第 2 号該当者等)

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500k1 以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
株式会社ミットヨ本社	川崎市高津区坂戸1-20-1	2734	精密測定器製造業	4,479 t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500k1 以上 1,500k1 未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500k1 未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400~500k1 未満	
300~400k1 未満	
200~300k1 未満	
100~200k1 未満	
100k1 未満	

(3) 事業所等単位 (第 4 号該当者等)

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量 (二酸化炭素換算) が 3,000 t 以上 (二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。) の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量 (二酸化炭素換算) が 3,000 t 未満 (二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。) の事業所の数

事業所数	
------	--